

奨励賞 審査委員講評

北海道札幌工業高等学校

地域復興プロジェクト

～空地・空き家を生かす4大計画～

地域の特色をつかみ、4つの提案としてはよいのだが、もう少し具体性を持った提案とその効果を研究し、将来の展望がほしいと思う。

(安田)

青森県立青森工業高等学校

CF café (complete freedom café)

作者はどうすれば人が集まる場所が提供できるのか、さまざまに思いを巡らせている。建物はカフェという形態をとりながら、イベントの開催から個人のプライベートな空間提供まで、あらゆる可能性を提案している。既設の建物は個性的な形をしており、施設の内容次第では街の名所となる可能性を秘めている。(廣瀬)

青森県立青森工業高等学校

倭人のまほろば

既存建物を減築し、より使い勝手のよいものにしようとした発想はよい。1階の建物フロントをまちなみと関係をつけさせることは評価したい。残念なのは、2～6階フロント立面デザインが脆弱すぎた。ここも1階と同様に、その表情をより豊かに考えると、よりよい案になったと思える。

(森崎)

宮城県古川工業高等学校

再生×再建×再発見

～3つの「再」、で未来へつなぐ～

住民が集まりなくなる場所の提案として、自然環境を含め、その地域の持っている資源を活かしている点が良い。

(小野)

宮城県工業高等学校

眺めいる家

現存する空き家の利活用としての提案であるが、人を呼び込む提案、それによる街への波及等をもう一つ提案いただければと思う。(安田)

秋田県立横手清陵学院高等学校

田舎だからできること

道路沿いの「ガラス張りの個室」は見える化としてはよい提案であるが、ガラスにて隔たれた空間と外部との繋がりが成り立つのかが気になる。

(安田)

秋田県立横手清陵学院高等学校

空き家の活用

新聞にこんな記事が載っていた。東北震災でボランティアに来ていた東京の設計事務所勤務の女性が、地元で除染作業に当たる作業員の方々に何が一番必要なのかを聞いたところ、仕事の後で皆が集まりカラオケを歌ったり酒を楽しむ場所を提供してほしい、という返事が返ってきたそうだ。

(廣瀬)

山形県立山形工業高等学校

～今を未来につなぐ～

コンセプトに、「『ゆっくりと楽しめる施設、集まれる施設』があれば……」とある。具体的な表現(仕掛け)が欲しかった。減築部分は一部「お遊戯広場」とあるが、そのイメージがつかめない。使用しなくなったスペースの活用案も、使用する校舎との関係において表現していくと、よりよい案になっていたのでは。

(森崎)

福島県立郡山北工業高等学校

KURA HOUSE

閉鎖的な入り口をオープンな空間にしている点が良いが、歴史ある蔵の活用であるので、風情を活かしたひと工夫があると、さらによいと思う。

(小野)

栃木県立宇都宮工業高等学校

僕たちの宇都宮

～がんばっぺ! 魅力再発見～

隔たりとなる駅をつなぐ場所としての開発計画だが、西側にある空き店舗の利活用場所と駅周辺とのつながりが持てるかが心配されると感じる。

(安田)

群馬県立桐生工業高等学校

CONNECT 蔵の親子と岡公園

重伝建地区に存在する「蔵」を子どもたちが集まる場としての提案であれば、蔵の特徴である「外部を遮断」する部分と開放的な場所との融合が、もうひと工夫必要と感じる。(安田)

埼玉県立春日部工業高等学校

果樹園

～後継者と地域を繋ぐシェアハウス～

高齢化が進み廃園となってしまう果樹園をシェアハウスに改修して、農業に興味のある人々に農業についての学習を行う施設。農業に憧れ、使われなくなった農地を耕し、周囲の農家の方々に支えられながら、何年もかかって収穫を得るといった番組がたびたび放送されるようになった。ほとんどが脱都会派の年配の方が多いのだが、今後は若い年齢層にもそうした現象が広がるのではと期待している。

(廣瀬)

川崎市立川崎総合科学高等学校

温故知泉

「駅付近に温泉街」「SNSの利用」「日本一長い足湯」と3つのアイデアで人を呼び込んだ後の「住ませ方」の仕掛けが欲しい。単なる温泉地の遊興のアイデアになってしまう。空き家対策として、このアイデアをどう結びつけるか。

(森崎)

山梨県立甲府工業高等学校

伝統×ひと×未来

～ぶどうの町から～

地域性を活かした興味深い提案であったが、ぶどうの町であることの面白さを、コメントだけでなく前面に出されたほうがよいのではと感じた。

(小野)

長野県飯田OIDE長姫高等学校

オルターナティブな暮らし

～商業地から住宅地へ～

コンパクトシティの提案とみられるが、利便

性の反面、地域への影響がどのように出るのか？ 利用する年代等の幅を再度研究されてもよいのではと思う。(安田)

静岡県立科学技術高等学校 伝統工芸×商店街 駒形通り再生計画

伝統工芸を扱う街にアーケード型テラスを設けることは注目されることは間違いないと思うが、上下との連動性をもう少し活かした計画となればよいと思う。(安田)

三重県立四日市工業高等学校 SASAGAWA RADIO TOWN ～電波で自治会活性化計画～

会員が減り続ける自治会の活動報告にラジオを使用してみてもどうかという提案である。動きの悪い回覧板に比較して、情報はタイマーに伝わり、周囲の自治会の様子も手軽に聞き知ることができる。地域の活性化が期待できる提案である。(廣瀬)

石川工業高等専門学校 移職住 ～遊歩道でつながる街～

商店街の構成や現存する広場を再整備し、まちを見直そうという「まち改造システム提案」のアイデアはよい。住と職の分離した結果の集合住宅の採光のアイデア提案もよい。しかし、連続性を要求される店舗の在り方なども提案が欲しかった。(森崎)

石川工業高等専門学校 街の居間 —津幡町商店街における空き家を改装したコミュニティ施設を核とした街おこし—

水際を活かし、風情のある外観が地域らしさを醸し出している点が良い。(小野)

福井県立武生工業高等学校 世代を超えたまちづくり ～アイデアと技術の融合～

一つの建物を利活用する提案であるが、提

案材料の中にもう少し街の現状等を盛り込み、どのような流れで人が集まるかを示してほしいと思う。(安田)

福井工業高等専門学校 ヤドカリハウス

海に見える空き家利用とすることはよい発想だと思うが、空き家単体での計画より、その建物を起点とした街への波及効果をもう少し提案いただきたいと思う。(安田)

滋賀県立八幡工業高等学校 幼児高校共育校 —ecoを学べる！ 空き校舎を子ども園として—

高校の空き校舎を利用して、幼児を預かる施設に改修する提案である。eco発電システムを取り込んだ夢多き提案だ。(廣瀬)

舞鶴工業高等専門学校 行こうよ！ あきやのもり

母親の「子を介した交流、息抜きの場」。それは、子が母の手を引き、訪れる遊び場と解いている。限定した年齢の児童とすれば、このコンセプトはよいだろう。しかし、ハードとしての空き家の新たな活用のプランニングの具体的な表現が欲しい。(森崎)

兵庫県立兵庫工業高等学校 はい！ こちら「パッチワーク工務店！」

地元の若手の大工さんが考える街づくりという発想が興味深い。歴史的な面を表現するとさらによい。(小野)

兵庫県立兵庫工業高等学校 3丁目のネコ (ネコと樹と地域のつながり)

野良猫対策とふれあいの場所という提案であるが、地域問題は解決するとして、もう少し猫と人たちの交流をうまく外部に見せられる工夫がほしいと思う。(安田)

奈良県立奈良朱雀高等学校 奈良 ドリームタウン

廃止された遊園地の利活用は面白いが、街として閉鎖された空間にならないか？ という部分が気になった。(安田)

岡山県立津山工業高等学校 滴 ～つながる人の波紋～

商店街の空き家の1階を情報交換スペース、カフェ、サテライトオフィスなどに使用し、2階を民泊に活用している。再生した空き家をそれぞれ滴にたとえ、周囲に波紋として広がり、人々の交流がにつながるであろうと提案している。(廣瀬)

広島県立広島工業高等学校 「試・学・遊・憩」 ～感じる！ 見える！ 行ける！ 〴〵コイ・マチ、のウラ・オモテ～

現在の商店街と線路の関係、それを改造していくプロセスがわかりにくい。奥行きが少ない店舗は現在の店舗？ 新たな活用のアイデア(これは、すばらしい)の力の割に読みづらい表現となってしまったところに残念さがある。(森崎)

山口県立下関工科高等学校 網工場を市場に

人々の交流を生み出す空間の提案はよいが、活気あふれる市場の雰囲気表現されるとよかつたのではと思う。(小野)

山口県立柳井商工高等学校 見れる 食べれる 寛げる 大津島 るるる堪能プロジェクト

既存の建物をあまり触らず利用する提案であれば、より外部から注目される工夫が必要と感じる。見た目ではなく、立体的な空間構成も検討材料として取り入れてはいかかだろうか。(安田)

香川県立高松工芸高等学校

いのちの眠る家

高齢化を踏まえた納骨堂の提案。単体での計画としてはよいのだが、街中に増加していく空き家の活用として考えると、少し抵抗のある提案かと思う。(安田)

香川県立坂出工業高等学校

新・本通商店街

本通り商店街の一部を図書館通りにする提案である。休憩室や自習室もあり、高校生を中心に下校時や休校日に訪れる学生も増え、商店街の一角が書籍(古本等)の専門店街になったような賑わいとなるであろう。(廣瀬)

愛媛県立松山工業高等学校

瀬戸の花嫁 ～家族のはじまり～

式場がシンプルでいい。この島で結婚式をあげた人々を定住にどうつなげていくか? 花婿、花嫁はどこからくるのだろうか。そのあたりが空き家活用としての人々の「定住」性に関わるのではないだろうか。(森崎)

愛媛県立松山工業高等学校

生き遅れゝ女子(自称)の
ひとり立ち物語(笑)

これからの活躍する女性像を垣間見た。実際の建物の状況もわかりやすく、その変化も興味深い提案である。(小野)

高知県立高知工業高等学校

Reconstruction

空き家に対する提案コンペであり、内容としては新築での提案に見受けられる。現状がわかる資料がほしいところである。(安田)

有明工業高等専門学校

まちを変える力

— 子どもの目から考える —

保育園+情報発信という提案と具体的な資金効果も検討されている。もう一つ踏み込むと、保育園に行く「ついで」の方々がどのような

情報を求めてどのように答えるか? の提案がほしい。(安田)

佐賀県立唐津工業高等学校

唐津に生きる

～唐津京町商店街「京や」の物語～

現在は屋内駐車場として使われている唐津京町商店街にある120年ほど前に建てられた「くじら組」の建物を利用して、宿泊施設のある唐津焼の絵付け体験コーナーを設ける計画である。(廣瀬)

長崎県立大村工業高等学校

みんなの抱育園

空き家の連結の仕方として「つなぎの間」に向いているのかいないのかを、はっきりさせたほうがよい。棟の連結配置はこれをはっきりさせることによって、よりよくなる。中央部に「傘」は、その規模においてもスケールアウトしたようだ。(森崎)

熊本高等専門学校

今昔物語

建物を利用しやすく、改装提案だけでなく、川を軸に、四季折々にどんな楽しみ方があるのかが表現されていて面白い。(小野)

熊本県立熊本工業高等学校

廃校 Renovation

～留学生と村の活性化～

日本を学ぶ専門学校+生活の場としての提案であるが、学校という敷地の閉鎖的な部分と街をどのようにつなぐのかの提案があればよいと思う。(安田)

大分県立大分工業高等学校

『空き家は地域の恵み』

＝空き家は、魅力ある町を産み出し、
少子高齢化に歯止めをかける＝

空き家を住みやすい形で再生する提案である。食材を生産する提案も含まれている。人々が集まり、より快適な生活ができる魅力ある地域の創造を提案している。(廣瀬)

宮崎県立都城工業高等学校

カフェ&バー「藏」

現実的、実現可能な案である。しかし、それゆえにインパクトが欠けた。改造提案にひと工夫欲しい。たとえば、外構との関係性により、新たな用途での空間を生み出せるとか……。 (森崎)

鹿児島県立隼人工業高等学校

歩楽利 ～いっでんだいでん～

「おもてなし観光」を活かした物産館の提案は興味深いので、さらに地域の特徴を表現していただければよかったです。(小野)

鹿児島県立隼人工業高等学校

志の街

～豊かな暮らしは志布志市で～

一部空き家の活用はみられるが、ほぼ新築に近い状態となっており、空き家となった理由の「解消」部分が弱いと感じる。(安田)